



## 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社

コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	56,947	△2.0	1,298	145.2	1,078	172.4	670	353.0
27年12月期第3四半期	58,136	△1.6	529	28.7	396	7.5	147	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 555百万円 (121.7%) 27年12月期第3四半期 250百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	10.69	—
27年12月期第3四半期	2.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	47,159	—	20,971	—	—	39.9
27年12月期	57,297	—	20,869	—	—	32.7

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 18,806百万円 27年12月期 18,751百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	7.00	7.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	△2.2	2,050	26.6	1,800	26.6	600	152.3	9.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期3Q	65,586,196 株	27年12月期	65,586,196 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期3Q	2,854,375 株	27年12月期	2,849,141 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	62,733,669 株	27年12月期3Q	62,742,273 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

○第3四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られ緩やかな景気回復基調にあるものの、中国やアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱決定、不安定な円相場など景気下振れリスクの懸念もあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

酒類業界におきましては、国内の人口減少や少子高齢化により市場の伸張が期待しにくく、かつ消費の二極化・複層化が進む中、企業間の販売競争が激化しており、厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の下、当社グループは「長期ビジョン100」の実現に向けた「中期経営計画2020」を策定し、当社グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上に向けた取組みを進めております。この取組みの中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、56,947百万円(前年同期比2.0%減)となりましたが、利益面では、原材料価格やエネルギーコストの低減などにより、営業利益は1,298百万円(前年同期比145.2%増)、経常利益は1,078百万円(前年同期比172.4%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は670百万円(前年同期比353.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	27,978	100.3
		チューハイ	5,513	95.1
		清酒	4,008	91.7
		合成清酒	2,217	90.1
		販売用アルコール	5,495	120.0
		みりん	346	93.2
			45,560	100.2
	洋酒部門		4,439	93.5
	その他の部門		955	109.0
		50,955	99.7	
加工用澱粉		2,946	97.2	
酵素医薬品		2,782	85.8	
不動産		248	94.1	
その他		15	97.5	
	合計	56,947	98.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、市場の停滞や販売競争激化の状況の下、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行いました。売上高は50,955百万円(前期同期比0.3%減)となりました。一方、利益面につきましては、原材料価格やエネルギーコストの低減などの影響により、営業利益は285百万円(前年同期は463百万円の営業損失)の大幅な増益となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、甲類焼酎の「ビッグマン」が北海道を中心に展開したテレビCMやプロモーション活動が寄与し、前年を上回る推移となりました。また、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、「黒海渡(くろかいと)」、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」も好調に推移した結果、焼酎の売上高は増加いたしました。その他、北海道の旭川工場、福岡県の久留米工場、秋田県の湯沢工場の各工場で作られたお酒「超熟十年貯蔵 刻の扉(とぎのとびら)」3種を当社グループの統一ブランドとして発売いたしました。当社グループの技術を結集した、当社ならではの商品をお客様に提供しております。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、全国のご当地素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズの「青森県産ふじりんごのチューハイ」に青森県産品のPRキャラクターをデザインし、

9月にリニューアルいたしました。

洋酒部門においては、来年発売25周年を迎える「鍛高譚(たんたかたん)」ブランドの新しいラインアップとして、赤シソのアロマ香るドライな味わいのリキュール「鍛高譚R」を全国発売しております。9月に全国発売した低アルコール飲料の「鍛高譚Rスパークリング」とあわせて積極的なプロモーション活動を展開してまいります。その他、「ウイスキー 香薫(こうくん)」やPB商品のウイスキーは伸張しましたが、売上高は減少いたしました。

その他の部門については、飲食店の売上高が増加しております。茨城県牛久市のシャトーカミヤでは、東日本大震災で被災した国指定重要文化財「シャトーカミヤ旧醸造場施設」の災害復旧工事が3月に完了し、7月から全館で営業を再開しております。また、牛久ブルワリーで醸造したクラフトビール「牛久シャトービール」2種が、「ワールド・ビア・アワード2016」でスタイル別の世界一の称号「ワールドベスト・スタイル」を受賞し、品質の高さが世界で認められました。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、菓子用グリッツの販売数量は増加しましたが、シリアル食品用及びビール用グリッツの販売数量が減少したため、売上高は2,946百万円(前年同期比2.8%減)となりました。しかしながら、原材料価格の低減等により営業利益は232百万円(前年同期は114百万円の営業損失)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、主力の酵素部門における海外での販売が、数量では前年を上回ったものの、円高による影響や競争激化による売上単価下落に伴い、売上高は2,782百万円(前年同期比14.2%減)、営業利益は600百万円(前年同期比33.6%減)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業については、賃貸契約の減少により、売上高は248百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は172百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、47,159百万円となり、前連結会計年度末と比較し10,137百万円の減少となりました。これは主に季節要因による売上債権の減少と投資有価証券の時価評価による減少によるものであります。

負債につきましては、26,188百万円となり、前連結会計年度末と比較して10,240百万円の減少となりました。これは主に季節要因による未払酒税と支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、20,971百万円となり、前連結会計年度末と比較して102百万円の増加となりました。これはその他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、酒類事業における業績の進捗状況、原料米等の原材料価格の高騰など第3四半期までの業績を踏まえ、平成28年7月29日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(酒類事業)

平成28年1月1日に合同酒精株式会社と北の誉酒造株式会社は、合同酒精株式会社を存続会社とする100%子会社同士の合併を行っております。

この結果、平成28年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社10社により構成されております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が4百万円増加しております。

(減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い等の適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,667	1,277
受取手形及び売掛金	21,892	14,180
商品及び製品	6,731	6,886
仕掛品	185	253
原材料及び貯蔵品	1,009	937
繰延税金資産	637	614
その他	431	425
貸倒引当金	△16	△8
流動資産合計	32,540	24,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,681	25,842
減価償却累計額	△18,117	△18,503
建物及び構築物(純額)	7,563	7,338
機械装置及び運搬具	32,366	32,560
減価償却累計額	△28,760	△29,381
機械装置及び運搬具(純額)	3,606	3,178
その他	1,982	2,051
減価償却累計額	△1,809	△1,865
その他(純額)	172	185
土地	8,797	8,834
建設仮勘定	1,141	9
有形固定資産合計	21,281	19,547
無形固定資産		
のれん	328	280
その他	376	362
無形固定資産合計	704	642
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991	1,683
退職給付に係る資産	80	—
繰延税金資産	295	343
その他	410	382
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	2,770	2,403
固定資産合計	24,757	22,593
資産合計	57,297	47,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,593	4,115
電子記録債務	1,213	827
短期借入金	4,050	4,820
リース債務	12	23
未払金	4,479	3,300
未払酒税	9,509	4,852
未払法人税等	607	166
賞与引当金	59	381
役員賞与引当金	41	31
設備関係支払手形	349	243
その他	1,737	762
流動負債合計	27,654	19,523
固定負債		
長期借入金	2,410	1,600
長期預り金	3,342	3,200
リース債務	26	49
退職給付に係る負債	1,474	1,345
資産除去債務	126	126
繰延税金負債	283	232
その他	1,109	110
固定負債合計	8,773	6,664
負債合計	36,428	26,188
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,576	5,580
利益剰余金	6,239	6,470
自己株式	△565	△566
株主資本合計	18,196	18,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	448
繰延ヘッジ損益	△11	△19
退職給付に係る調整累計額	△73	△52
その他の包括利益累計額合計	554	375
非支配株主持分	2,118	2,164
純資産合計	20,869	20,971
負債純資産合計	57,297	47,159



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	58,136	56,947
売上原価	47,925	46,105
売上総利益	10,211	10,842
販売費及び一般管理費	9,681	9,543
営業利益	529	1,298
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	20
受取賃貸料	60	60
雑収入	32	32
営業外収益合計	114	113
営業外費用		
支払利息	120	90
操業休止等経費	89	140
為替差損	18	86
雑損失	18	15
営業外費用合計	247	332
経常利益	396	1,078
特別利益		
国庫補助金等受贈益	2	-
負ののれん発生益	25	-
固定資産売却益	0	26
受取保険金	-	44
その他	0	0
特別利益合計	28	72
特別損失		
固定資産除売却損	14	12
投資有価証券評価損	11	7
その他	0	1
特別損失合計	26	21
税金等調整前四半期純利益	397	1,129
法人税等	306	392
四半期純利益	90	737
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△57	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	147	670

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	90	737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△195
繰延ヘッジ損益	△51	△7
退職給付に係る調整額	61	20
その他の包括利益合計	159	△181
四半期包括利益	250	555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303	491
非支配株主に係る四半期包括利益	△52	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,115	3,031	3,243	263	467	58,121	15	—	58,136
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	—	—	—	—	3	—	△3	—
計	51,118	3,031	3,243	263	467	58,124	15	△3	58,136
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△463	△114	904	176	19	522	6	—	529

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,955	2,946	2,782	248	56,932	15	—	56,947
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	—	—	—	10	—	△10	—
計	50,965	2,946	2,782	248	56,942	15	△10	56,947
セグメント利益	285	232	600	172	1,290	7	—	1,298

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「バイオエタノール事業」については、前連結会計年度においてバイオエタノールの生産を終了したことに伴い、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントから除外しております。

(追加情報)

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日付で公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度に適用される法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の32.3%から平成29年12月期及び平成30年12月期においては30.9%に、平成31年12月期以後に開始する連結会計年度においては30.6%に変更しております。

なお、この変更により当第3四半期連結累計期間の、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が74百万円、その他有価証券評価差額金が11百万円それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額が8百万円、法人税等が71百万円減少しております。

## 平成28年12月期 第3四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

平成28年11月4日

# 1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成27年1月1日 至平成27年9月30日	自平成28年1月1日 至平成28年9月30日		
酒類事業	51,115	50,955	△ 159	99.7
加工用澱粉事業	3,031	2,946	△ 84	97.2
酵素医薬品事業	3,243	2,782	△ 461	85.8
バイオエタノール事業	467	-	△ 467	-
不動産事業その他	279	263	△ 16	94.3
売上高	58,136	56,947	△ 1,189	98.0
売上原価	47,925	46,105	△ 1,819	96.2
売上総利益	10,211	10,842	630	106.2
販売費及び一般管理費	9,681	9,543	△ 137	98.6
酒類事業	△ 463	285	749	-
加工用澱粉事業	△ 114	232	346	-
酵素医薬品事業	904	600	△ 303	66.4
バイオエタノール事業	19	-	△ 19	-
不動産事業その他	183	179	△ 3	98.0
営業利益	529	1,298	768	245.2
営業外収益	114	113	△ 0	99.2
営業外費用	247	332	85	134.4
経常利益	396	1,078	682	272.4
特別利益	28	72	43	256.5
特別損失	26	21	△ 5	78.5
税金等調整前四半期純利益	397	1,129	732	284.4
法人税等合計	306	392	86	128.2
四半期純利益	90	737	646	810.5
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 57	66	123	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	147	670	522	453.0
1株当たり四半期純利益※円	2.36	10.69	8.33	453.0

## 2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成27年1月1日 至平成27年9月30日	自平成28年1月1日 至平成28年9月30日		
焼酎	27,907	27,978	70	100.3
（甲類焼酎）	(11,395)	(11,393)	(△1)	(100.0)
（乙類焼酎）	(16,512)	(16,585)	(72)	(100.4)
チューハイ	5,800	5,513	△286	95.1
清酒	4,369	4,008	△361	91.7
合成清酒	2,461	2,217	△243	90.1
アルコール	4,579	5,495	916	120.0
みりん	372	346	△25	93.2
洋酒	4,747	4,439	△308	93.5
その他	876	955	78	109.0
酒類計	51,115	50,955	△159	99.7
加工用澱粉	3,031	2,946	△84	97.2
酵素医薬品	3,243	2,782	△461	85.8
不動産	263	248	△15	94.1
バイオエタノール	467	-	△467	-
その他	15	15	△0	97.5
合計	58,136	56,947	△1,189	98.0



### 3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	749	原材料コストの低下による原価減+1,220 売上高減少による総利益減△30 製品構成の影響等△441
加工用澱粉事業	346	原価の低減
酵素医薬品事業	△ 303	売上高の減少
バイオエタノール事業	△ 19	事業の廃止
不動産事業その他	△ 3	
営業利益	768	
営業外収益	△ 0	
営業外費用	△ 85	操業休止等経費
経常利益	682	
特別利益	43	受取保険金
特別損失	5	
税金等調整前四半期純利益	732	
法人税等	△ 86	
四半期純利益	646	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 123	
親会社株主に帰属する四半期純利益	522	

#### 4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成27年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成28年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,667	1,277	△ 389	76.6	
受取手形及び売掛金	21,892	14,180	△ 7,712	64.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,927	8,076	149	101.9	
繰延税金資産	637	614	△ 23	96.3	
その他	431	425	△ 6	98.6	
貸倒引当金	△ 16	△ 8	8	-	
流動資産合計	32,540	24,566	△ 7,973	75.5	
建物	6,023	5,907	△ 116	98.1	
土地	8,797	8,834	37	100.4	
その他	6,460	4,805	△ 1,654	74.4	
有形固定資産計	21,281	19,547	△ 1,734	91.8	
無形固定資産	704	642	△ 61	91.2	
投資有価証券	1,991	1,683	△ 307	84.6	時価の下落
長期前払費用	184	157	△ 27	85.1	
繰延税金資産	295	343	48	116.4	
その他	306	225	△ 80	73.6	
貸倒引当金	△ 6	△ 7	△ 0	-	
投資その他の資産計	2,770	2,403	△ 367	86.7	
固定資産合計	24,757	22,593	△ 2,164	91.3	
資産合計	57,297	47,159	△ 10,137	82.3	

	前連結会計年度 平成27年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成28年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,807	4,942	△ 1,864	72.6	
短期借入金	4,050	4,820	770	119.0	
未払金	4,479	3,300	△ 1,179	73.7	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	9,509	4,852	△ 4,657	51.0	季節要因による売上高減
その他	2,808	1,608	△ 1,199	57.3	未払法人税及び未払消費税の減
流動負債合計	27,654	19,523	△ 8,131	70.6	
長期借入金	2,410	1,600	△ 810	66.4	
その他	6,363	5,064	△ 1,298	79.6	
固定負債合計	8,773	6,664	△ 2,108	76.0	
負債合計	36,428	26,188	△ 10,240	71.9	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,576	5,580	4	100.1	
利益剰余金	6,239	6,470	231	103.7	
自己株式	△ 565	△ 566	△ 1	-	
株主資本合計	18,196	18,431	234	101.3	
その他有価証券評価差額金	639	448	△ 191	70.0	
繰延ヘッジ損益	△ 11	△ 19	△ 7	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 73	△ 52	20	-	
その他の包括利益累計額合計	554	375	△ 178	67.8	
非支配株主持分	2,118	2,164	46	102.2	
純資産合計	20,869	20,971	102	100.5	
負債純資産合計	57,297	47,159	△ 10,137	82.3	

自己資本比率※%	32.7	39.9	7.2	
----------	------	------	-----	--

## 5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	当連結会計年度 自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	73,424	72,700	△ 724	99.0
加工用澱粉事業	4,091	3,909	△ 181	95.6
酵素医薬品事業	3,972	3,527	△ 444	88.8
バイオエタノール事業	467	-	△ 467	-
不動産事業その他	368	362	△ 6	98.2
売上高	82,325	80,500	△ 1,825	97.8
売上原価	67,434	65,323	△ 2,110	96.9
売上総利益	14,890	15,176	285	101.9
販売費及び一般管理費	13,270	13,126	△ 144	98.9
酒類事業	342	757	414	221.2
加工用澱粉事業	△ 34	295	330	-
酵素医薬品事業	1,040	763	△ 277	73.4
バイオエタノール事業	22	-	△ 22	-
不動産事業その他	248	233	△ 15	94.0
営業利益	1,619	2,050	430	126.6
営業外損益	△ 197	△ 250	△ 52	-
経常利益	1,422	1,800	377	126.6
特別損益	△ 551	△ 296	255	-
税金等調整前当期純利益	870	1,503	633	172.7
法人税等合計	670	823	153	122.8
当期純利益	200	680	479	339.5
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 37	80	117	-
親会社株主に帰属する当期純利益	237	600	362	252.3

## 6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日		
焼 酎	39,979	40,111	132	100.3
( 甲 類 焼 酎 )	(16,108)	(16,130)	(22)	(100.1)
( 乙 類 焼 酎 )	(23,870)	(23,981)	(110)	(100.5)
チ ュ ー ハ イ	7,871	7,463	△ 408	94.8
清 酒	6,513	6,008	△ 505	92.2
合 成 清 酒	3,584	3,270	△ 314	91.2
ア ル コ ー ル	6,654	7,411	756	111.4
み り ん	551	514	△ 37	93.3
洋 酒	7,062	6,635	△ 427	93.9
そ の 他	1,207	1,285	78	106.5
酒 類 計	73,424	72,700	△ 724	99.0
加 工 用 澱 粉	4,091	3,909	△ 181	95.6
酵 素 医 薬 品	3,972	3,527	△ 444	88.8
不 動 産	347	332	△ 15	95.7
バ イ オ エ タ ノ ー ル	467	-	△ 467	-
そ の 他	21	30	8	138.6
合 計	82,325	80,500	△ 1,825	97.8